



部活動のこれから

6月8日・9日に陸上の東部大会(通信陸上)が開催され、大会新記録を出す選手もいて、大いに活躍する大中学生の姿を見ることができました。これを皮切りに、中体連シーズンがスタートしました。他の競技は6月22日からの開催です。

令和5年度から、地域の実情に応じて段階的に部活動の地域移行を進めることが、スポーツ庁、文化庁から示されてから2年が経過しました。生徒数減に伴い、部活動(の種目数)を維持することが難しくなっていることが社会的な背景となっているからです。また、教員の長時間労働の問題も重なり、人材や予算が確保できる自治体では、地域移行が積極的に進められています。部活動の維持が困難な状況は本校も例外では無く、野球部はすでに市内3中学校と合同で活動していますし、女子の剣道部は、5人制の団体戦に3人で出場する、という苦しい状況です。3中学校が統合し来年度開校する「伊豆中学校」誕生の根拠のひとつが、生徒のニーズにできるだけ応じられるように部活動数を確保する、ということでした。

全国中学生総合体育大会(中体連の全国大会)では、種目数の削減(ウィンタースポーツ等)が報じられ、部活動の在り方の大きな転換期を迎えていることを感じます。

年度当初に市教育委員会が行った中学生対象のアンケートでは、

- 現状の平日の活動時間で、帰宅後にゆとりを感じている生徒が8割近くおり、9割近くの生徒は自分で過ごし方を考えている。あるいは塾や習い事の時間調整がしやすくなっている。
- 部活動や地域クラブでは、楽しく活動し、技能を高めたり仲間を増やしたりしたい、とほとんどの生徒が望んでいる。

ということが読み取れます。また、保護者の願いも同様の傾向です。専門性を磨き、大会等である程度成果を求めたい生徒は、クラブチームを選択する傾向が強くなってきています。クラブチームに所属した場合、部活動よりも保護者の経済的な負担や送迎等のサポートが増えるため、学校や地域で活動することを望む保護者は減少するのではないと思われます。任意加入制ながら9割の生徒が部活動に所属していることの一因と考えます。

ブレイクダンスやスケートボードなどの新しい競技や、一部の高校で部活動として設置されたe-Sportsなど、既存の部活動や中体連という組織ではカバーできないほど選択肢は多様化しています。市と学校が提示できる地域移行された部活動も、選択肢の一つ、という位置づけになるのだらうと思います。まだ具体的な形を示せませんが、伊豆の国市の中学生が、生涯学習の一環として体育的・文化的活動に親しむことができる場を確保するよう、議論を深めている最中です。(文責:校長)

追記:市内のある篤志家から伊豆の国市教育委員会に、吹奏楽部で使用している楽器の修繕費の寄付があり、3中学校の吹奏楽部の楽器修繕が始まっています。部員皆が感謝し、コンクールに向けて練習に熱が入っています。篤志家の方には謹んで感謝申し上げます。



🏀🏈🏆🏊🏍️🏏🏐🏑🏒🏓🏔️🏹🏺🏻🏼🏽🏾🏿🏿🏿 中体連地区大会スタート! 🏀🏈🏆🏊🏍️🏏🏐🏑🏒🏓🏔️🏹🏺🏻🏼🏽🏾🏿🏿🏿

中体連地区予選が始まりました。それぞれのユニフォームをまとった生徒たちは凛々しく、各会場で熱戦が繰り広げられました。目標を目指した真剣なプレー、そして決してあきらめずに最後まで一生懸命に頑張る姿を見て、応援する私たちも大変感動しました。現段階の中体連の試合について、みなさまにご報告いたします。

〈野球部〉★1回戦敗退

〈サッカー部〉★準決勝へ

〈陸上部〉★女子総合優勝

★女子3年100m 優勝 渡邊

★女子共通 200m 優勝 渡邊(3年)

★女子共通4種競技 第2位 岩崎(2年)

★女子共通走高跳 優勝 森田(2年)

★女子共通走幅跳 第2位 森田(2年)

★女子共通 100mH 第2位 関(3年)

★女子共通4×100mR 優勝 岩崎(2年)

渡邊(3年)

秋元(3年)

関(3年)

〈男子ソフトテニス部〉★団体 優勝 県大会出場へ

〈女子ソフトテニス部〉★団体 予選リーグ敗退

〈女子バレー部〉★決勝トーナメント出場

〈男子バスケットボール部〉★予選リーグ敗退

〈女子バスケットボール部〉★予選リーグ敗退

〈男子卓球部〉★団体 予選リーグ敗退

〈女子卓球部〉★団体 3位



田方地区 PTA 指導者研修会開催

6月16日(日)本校を会場に、函南町、伊豆の国市、伊豆市のPTA役員が集まり、グループに分かれて各学校の活動の様子などについて、情報交換や協議を行いました。お手伝いいただいた役員の皆様、ご協力ありがとうございました。